

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 24 期 158 号

会報



総主題「神の恵みによって共に生きる」
副主題「喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める」

2019. 4. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14
発行者 中原 通江
編集者 澤田小枝子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

「わたしたちはキリストと共に死んだのなら、
キリストと共に生きることもなると信じます。」
ローマの信徒への手紙 6章8節

あなたへ



あなたの祈りの手として

シオン教会牧師 水原 一郎

してくれました。

昨年も災害が多い年でした。災害映像は心を痛めます。一方、突然被災者とされた方々は映像では伝わらない臭いと重みの環境下で、長期生活を余儀なくされます。私たちの働きは何か。

被災地の臭いと全国の祈りをつなぐ働きでした。私たちは何者か。あなたの祈りの手として重いものを動かしただけの者に過ぎません。つまり、あなたも被災地に居たのです。

何よりも「主が被災地にもおられる。主は被災された方にも今もこれからも寄り添う」これがルーテル教会の神学だと思えます。その確信の中に生かされた、全国の方々、近隣の牧師や教会員に支えられていることを感謝します。今後、災害が起きないことを祈ります。しかし有事の際には、状況を見定め、駆け付けて働く。そんな牧師でありたい。

松本西教区長の指揮下で、シオン教会員からの後方支援を受け、全国の祈りを支えとし、竹田大地師、伊藤節彦師、聖公会聖職やルーテル教会員、関係者と共に「西日本豪雨」の被災地、岡山県真備町や呉市安浦町での諸作業に延べ40日ほど携わりました。気温が体温を越える日の作業後は、汗塩とへドロまみれでした。
疲れ切った帰宅時、汗塩へドロ作業着がちらつと見られ「手で洗って！」と注文。「ついでに子どもたちの風呂！」の追加注文。笑顔で奥歯を噛みしめ長女(7)を呼ぶと「パパ、くさい！ イヤー!」。次女(2)もカーテン裏に隠れます。しかし現在と未来の女性会会員も、鼻をつまんで送り出